

平成26年8月4日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

最先端の研究力で将来の科学技術人材の育成を目指す ～スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒受け入れの取り組み～

奈良先端科学技術大学院大学（奈良先端大、学長：小笠原直毅）の各研究科（情報科学研究科、バイオサイエンス研究科、物質創成科学研究科）は、奈良県下の「スーパーサイエンスハイスクール」（SSH）指定校（奈良女子大学附属中等教育学校、奈良県立青翔高等学校、奈良県立奈良高等学校、奈良学園高等学校、西大和学園高等学校）から生徒を受け入れ、ラボスタイルで生徒の教育指導を行います。

今年度は、西大和学園高等学校を中心に、奈良県立青翔高等学校、奈良学園高等学校、京都府立南陽高等学校の生徒を受け入れ、各校の生徒の希望をもとに、テーマごとに3日間程度の研究室体験を実施します。ハードウェア設計体験や有機薄膜太陽電池の作成等、高校生にとって魅力的と思われる18のテーマを通じ、本学で行われている最先端の研究に触れ、教員や学生の指導のもと、その原理を学んでもらいます。日程等は別紙のとおりです。

理系離れが進む中、高校生が大学院レベルの最先端の研究現場に触れることで、科学する喜びを知り、将来の研究者や大学教員の育成につながるものと期待されます。

つきましては、記事掲載及び取材方よろしくお願ひします。

【日時】 平成26年8月4日（月）から22日（金）のうち、各3日間から5日間
※テーマにより日程は異なります。概ね9時30分以降夕方まで。詳細は別紙を参照願ひします。

【場所】 奈良先端科学技術大学院大学 各研究科内
奈良県生駒市高山町8916-5（けいはんな学研都市）
※アクセスについては、<http://www.naist.jp/>をご覧ください。

昨年度の様子



【問い合わせ先】

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 広報渉外係 高岡 達彦（たかおか たつひこ）
TEL：0743-72-5112 FAX：0743-72-5011 E-mail：s-kikaku@ad.naist.jp

（参考）各研究科担当者

- 情報科学研究科 情報基盤システム学研究室 准教授 猪俣敦夫
- バイオサイエンス研究科 神経形態形成学研究室 准教授 稲垣直之
- 物質創成科学研究科 ナノ構造磁気科学研究室 准教授 細糸信好

平成26年度奈良先端科学技術大学院大学スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒受入日程等

研究科名	タイトル	研究室名	日程(8月)												
			4日 月	5日 火	6日 水	7日 木	8日 金	9日 土	10日 日	18日 月	19日 火	20日 水	21日 木	22日 金	
情報科学研究科	ネットワークを設計しよう!	情報基盤システム学研究室			■	■	■	■	■	■					
	ソフトウェアの安全性を記述する	ソフトウェア設計学研究室				■	■	■	■						
	クラウドを支える仮想計算機環境の構築						■	■	■						
	法則を自分で見つけよう	数理情報学研究室									■	■	■	■	■
	ハードウェア設計体験	ディペンダブルシステム学研究室			■	■	■	■							
	R言語によるメディカル・バイオデータ・マイニング	計算システムズ生物学研究室			■	■	■	■							
	並列プログラミングによる超高速グラフ処理	コンピューティングアーキテクチャ研究室			■	■	■	■							
	ロボティクス入門-ビジュアルサーボで物体把持-	ロボティクス研究室			■	■	■	■							
バイオサイエンス研究科	植物が種を認識するメカニズムを探る	細胞間情報学研究室		■	■	■	■								
	タバコアルカロイド蓄積の制御	植物細胞機能研究室		■	■	■	■								
	表皮からのシグナルによる細胞増殖の抑制機構	植物成長制御研究室		■	■	■	■								
	エンドファイトと病原菌の感染時における植物免疫応答は異なるのか?	植物免疫学研究室		■	■	■	■								
	細胞の形態形成構築メカニズムを解明する	分子医学細胞生物学研究室	■	■	■	■	■								
物質創成科学研究科	電子回折法による超高真空中でのシリコン表面の観察	凝縮系物性学研究室			■	■	■	■							
	無機EL材料を用いたフレキシブルディスプレイ	情報機能素子科学研究室			■	■	■	■							
	タンパク質を材料とした超分子素材の作成	超分子集合体科学研究室			■	■	■	■							
	人工臓器材料へ抗菌性を付与するポリマーコート剤	生体適合性物質科学研究室			■	■	■	■							
	合成色素を用いた有機薄膜太陽電池の作成	有機光分子科学研究室			■	■	■	■							

時間は研究室により異なります(概ね9時30分から夕方まで)。